



こんにちは

村田 けい子

です

みなさんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。ホームページがあります。
フェイスブックやっています。 移動事務所 090-9144-8534
発行/日本共産党立科町議会議員 村田桂子 立科町塩沢1483 ☎0267(56)2868



'24
秋季号
NO.467
9月議会報告

【9月議会村田の一般質問から】

中学の修学旅行先 万博会場は見直しを！



住民から、「来年の修学旅行に大阪万博がある。やめてほしいが。」と声が届き一般質問で取り上げました。

京都・奈良・大阪が修学旅行先とのこと。京都・奈良などは、従来の旅行先で、日本の歴史・伝統・文化に触れるものと納得できますが、大阪は「万博会場」ともなると「はて？それではないのか」と問いました。

会場は安全か・・・メタンガス噴出の恐れ

大阪万博はいまだに海外パビリオンは建設途中。万博会場は現役の廃棄物処分場である夢洲（ゆめしま）であり、すぐ隣の地中から可燃性のメタンガスや硫化水素が発生し、爆発事故も。さらに強い毒性を持つヒアリが多数発見されています。

「安全面で不安」ということで遠足の対象にしない地元の学校もあるとも聞いています。

下見もできない状況で、どんな教育的効果が図れるのか。万博会場は中止をすべきではないかと質しました。

残念ながら、教育長は「国が安全を図る。建設途中で下見もできないが、いつもの旅行会社なのでお任せしている」と答弁。

どこでも「100%安全」とは言い切れないが、わざわざ「危険」と言われているところに行くことはない、見直すべきと問いました。

紙の保険証を残せ！

9月議会には、紙の保険証を廃止し、マイナ保険証にするために、条例から健康保険証に関わる記述を削除する条例改正議案が出され、村田は反対しました。

医療機関でトラブル続きのマイナカードの強制は許せない、従来の保険証も残すべきと討論。



意見書3本可決に 政府に届ける

陳情第3号 政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充し、すべてのケア労働者の賃上げや人員増を求める意見書

提出/長野県医療労働組合連合会から

陳情第4号 女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書

提出/佐久地区平和・人権・環境労働組合会議・長野県憲法擁護連合会から

陳情第5号 訪問介護報酬の引き下げ撤回と介護報酬引き上げの再改定を求める意見書

提出/佐久地区社会保障推進協議会

4号/ 村田が賛成討論. 可決. 国に批准を求めるもの。

女性差別撤廃条約選択議定書は、1985年に日本も批准した女性差別撤廃条約でうたわれた男女平等（ジェンダー平等）を効果的に進めるために、1999年に国連総会で決議されたもので、すでに115か国が批准. 日本は20年後の今も批准せず、G7先進7か国で一人だけとなっています。日本はジェンダー平等後進国です。

【特徴】権利侵害を受けた個人が、国連に直接訴えることができ、それを受けて国連機関が調査し、政府に対して意見・勧告ができる実効性がある。

3号5号/医療や介護現場で働く労働者は、他の産業よりも6万円も低く、他産業労働者が賃上げで5~10%のところ実質的には2%程度しか上がらないとの実態を示し、すべての労働者の賃上げと人員配置増・介護報酬切り下げ撤回・報酬増を国の責任で行うことを求める意見書となっています。



平和の鳩
空一杯に

今季のパチリ！

ふと見上げると大きな鳥が空一杯に羽を広げて飛んでいる。右に頭と嘴。翼を大きく広げて、大空に悠然と浮かんでいる。

この瞬間もウクライナやパレスチナガザの空の下では、ミサイルの恐怖におののいている。戦火は拡大する一方。いったん始まった戦争は終結が見えてこない。ゆっくりと空が眺められる幸せを思う。

公共交通改善を急げ

答 '25年10月から実証実験予定

今年が公共交通計画の見直しだということで昨年、「公共交通を考える会」を作って、各地域の公共交通の勉強をし、「のるーと塩尻」も体験した後、町に提言書を提出。その後の動きが見えないために、9月議会でその後の進捗状況を質問。今のところの考えは

- 1 朝夕は仕事に通う住民のため、幹線ルートを動かす。
- 2 平日日中は電話予約によるデマンド交通
- 3 土日祝日は休み
- 4 町外へは行かない。 となりそうです。



そこで長和町のデマンド交通「ながわごん」をご紹介します。長和町は (図はホームページより)

- 1, 町内は300円。運行は午前8時半～午後3時30分、すべて予約によるデマンド交通で、基本はドアツードアで乗降。
 - 2, 町外も300円で上田市・立科町の8地点に行かれる。
 - ・上田市は丸子中央病院・ツルヤ丸子店・丸子修学館高校入口など。
 - ・立科町は町役場前、ツルヤ立科店、蓼科高校前など3か所
 - ・町外乗降ポイント間の利用はできず必ず始終点が長和町にあること。
 - ・町外の停留所は住民のニーズにより決定
 - 3, 年中無休 土日・祝日も休まず運行。
受付／午前8時～午後4時まで、
電話でもスマホでも
 - 4, 高校生以下、町内無料、町外一回150円、未就学児、町内外無料
 - 5, 今は利用が多く5台のワゴン車がフル活用されており、予約が困難なほど。
- 【参考】長和町の人口 5,241人 (2024. 8.1)

立科町でも田中駅や病院など町外の主要ポイントに行ってほしいというのは大きな願いです。長和町を参考にして、早く、使いやすい公共交通を作ってほしいと思います。

酸素療法を続ける 住民の負担軽減を

身近に酸素ポンペを携行する住民が増え、私が聞き取りをした人は一度に2～3万円掛かる時もあるという。酸素ポンペだけで1回に7千円近くかかり、月に2～3万円の負担との事。医療費支払いの重さを嘆く声が寄せられた。負担軽減はできないか。

Q, 酸素療法を行っている住民の数
負担の状況は？

A, 町として把握していない。



Q, 肺気腫などの肺機能低下や、狭心症などの心臓疾患の患者が酸素療法を受けることが多い。障がい者手帳を持っていれば、福祉医療の対象となり3か月後には1医療機関当たり500円を引いた額が戻ってくるが、手帳がなければ重い自己負担のままである。

まず、手帳取得を勧めたらどうか。

A, 手帳が取得できるかは、担当の医師の判断。誰でも受けられるわけではない。

Q, 手帳があれば、医療費負担分が戻ってくることを知らない住民もいる。住民への周知が必要だが。



A, 手帳が必要ななら、医師が勧めると考える。

Q, 障がい者手帳所持者の医療費負担については、子どもと同様に、窓口無料化を進めるべきではないか。概して、手帳所持者は十分な仕事ができないことが多く、所得が低い人が多い。窓口で何万も支払うこと自体がハードルが高く、医療に掛かるのをためらう場合もある。現物給付（窓口負担を軽くする事）にできないか。

A, 一自治体でできることではなく、県全体で考えること。

子どもの医療費の支払いについても、いったん支払い後から戻してもらう償還払いでしたが、運動をして、最初から月に500円で済むように改善してきた経緯があります。ぜひ、障がい者についても、窓口負担の軽減をすべき・・・と求めました。

